

グラフで見る東海経済(2023年1月)

2023年1月26日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～持ち直しの動きがみられる

【今月のポイント】

- 東海経済は、持ち直しの動きがみられる。
- 生産は、自動車産業で半導体調達難による生産調整が続いているが、10月、11月と2カ月連続で増加となり、持ち直しの動きがみられる。
- 実質輸出も11月まで3カ月連続で増加となり、持ち直しの動きがみられる。
- 設備投資は22年度計画が上方修正となるなど、持ち直している。
- 個人消費は、コロナ感染の行方、物価上昇などが懸念されるが、ウィズコロナの進展（定着）により持ち直しの動きがみられる。

項目	現状
景気全般	持ち直しの動きがみられる(↑)
生産	持ち直しの動きがみられる(↑)
輸出	持ち直しの動きがみられる(↑)
設備投資	持ち直している
雇用	持ち直しの動きがみられる
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	横ばい圏で推移
公共投資	請負金額は弱含み(↓)

注: ()内は前月からの変化の方向

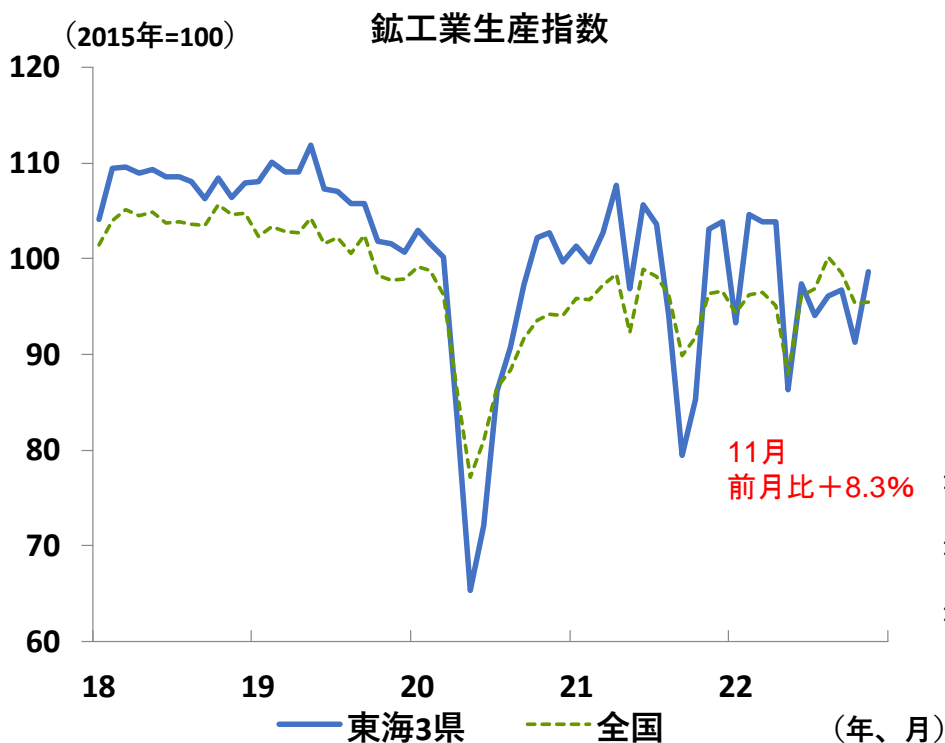
景気全般、生産は「持ち直しの動きが一服」から上方修正(↑)

輸出は「足踏み状態」から上方修正(↑)

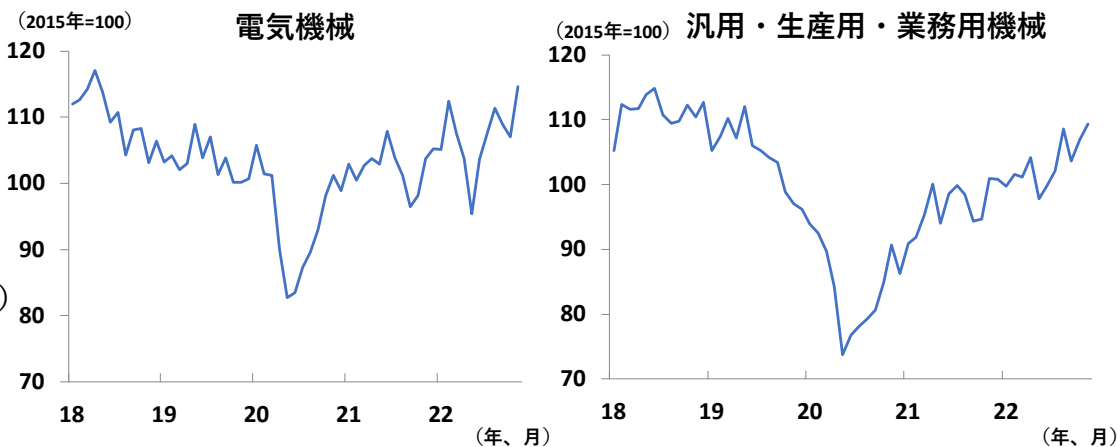
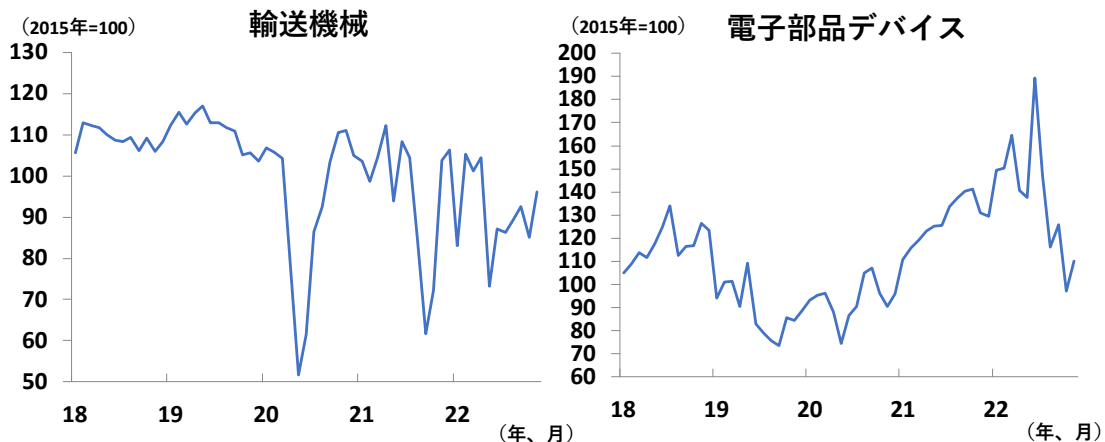
公共投資は「横ばい圏で推移」から下方修正(↓)

生産

11月の鉱工業生産(東海)は前月比+8.3%と2カ月ぶりに増加、持ち直しの動きがみられる。海外市況の軟調により電子部品デバイスが弱い動きとなる一方、汎用・生産用・業務用機械が増加基調で推移し、輸送機械に持ち直しの動きがみられる。

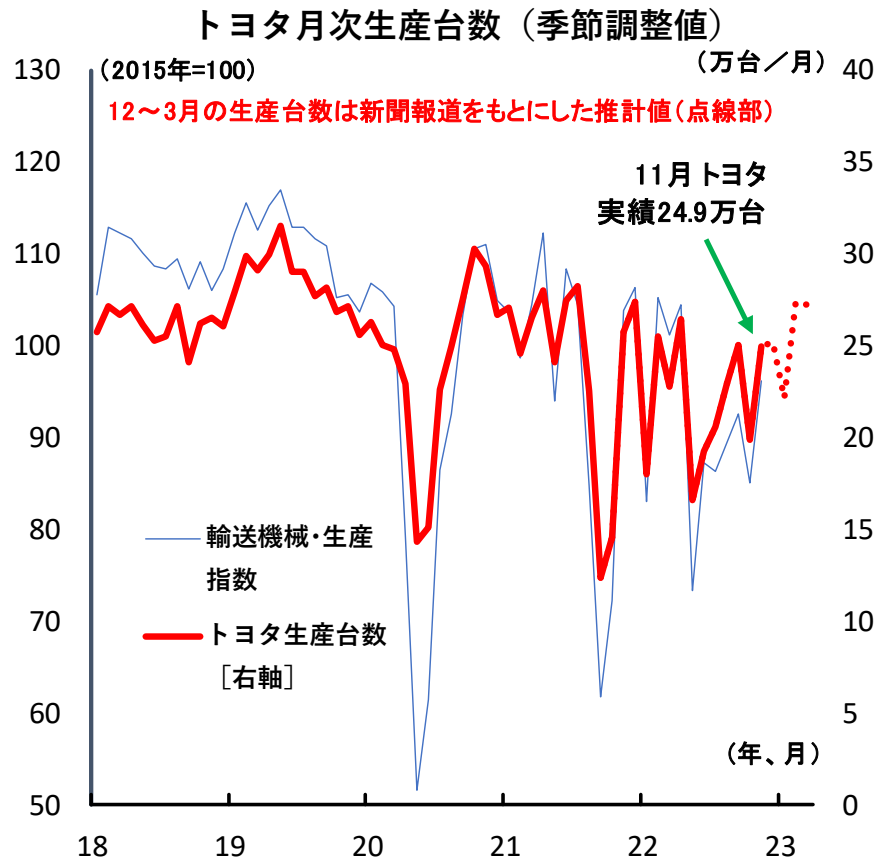


(出所)経済産業省「鉱工業生産動向」

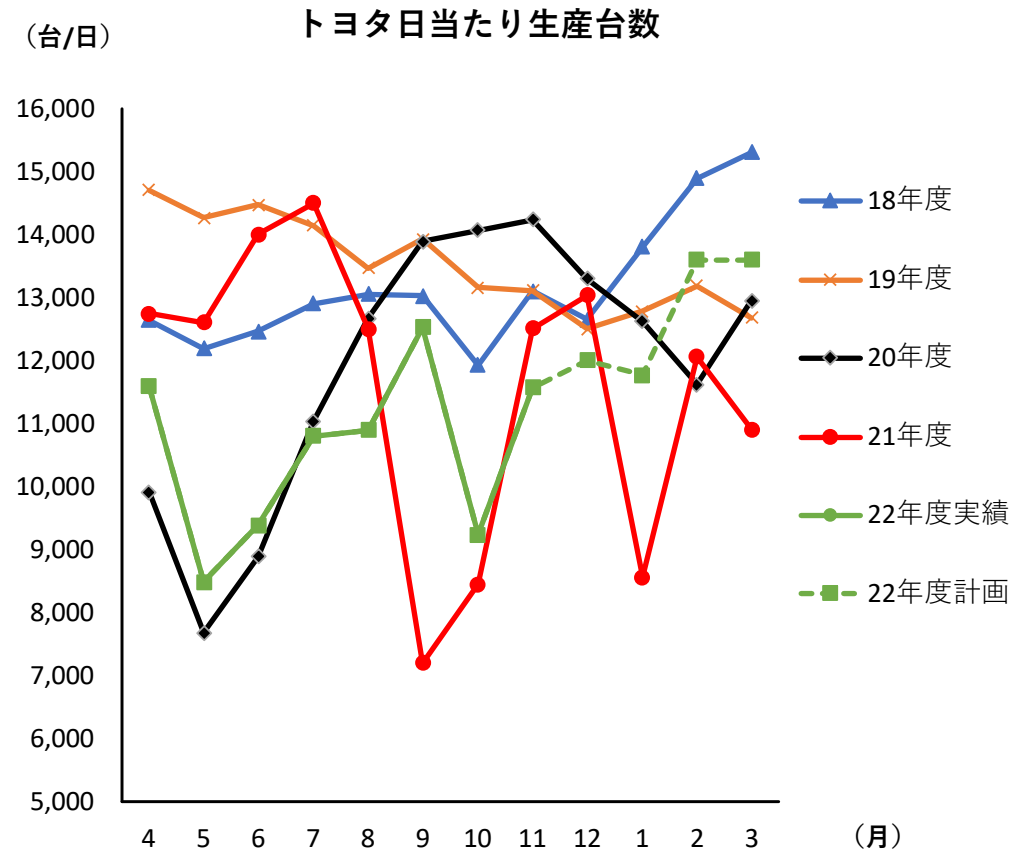


生産（トヨタ国内生産）

11月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は24.9万台と2ヵ月ぶりに増加。半導体調達難が続く中で当初計画(報道ベース)からは下方修正で着地したが、直前の修正計画からは上振れした。先行きは、1月まで生産調整を続けた後、2月以降に生産ピッチを上げる計画となっている。



(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの
 (出所)中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鉱工業生産指数」

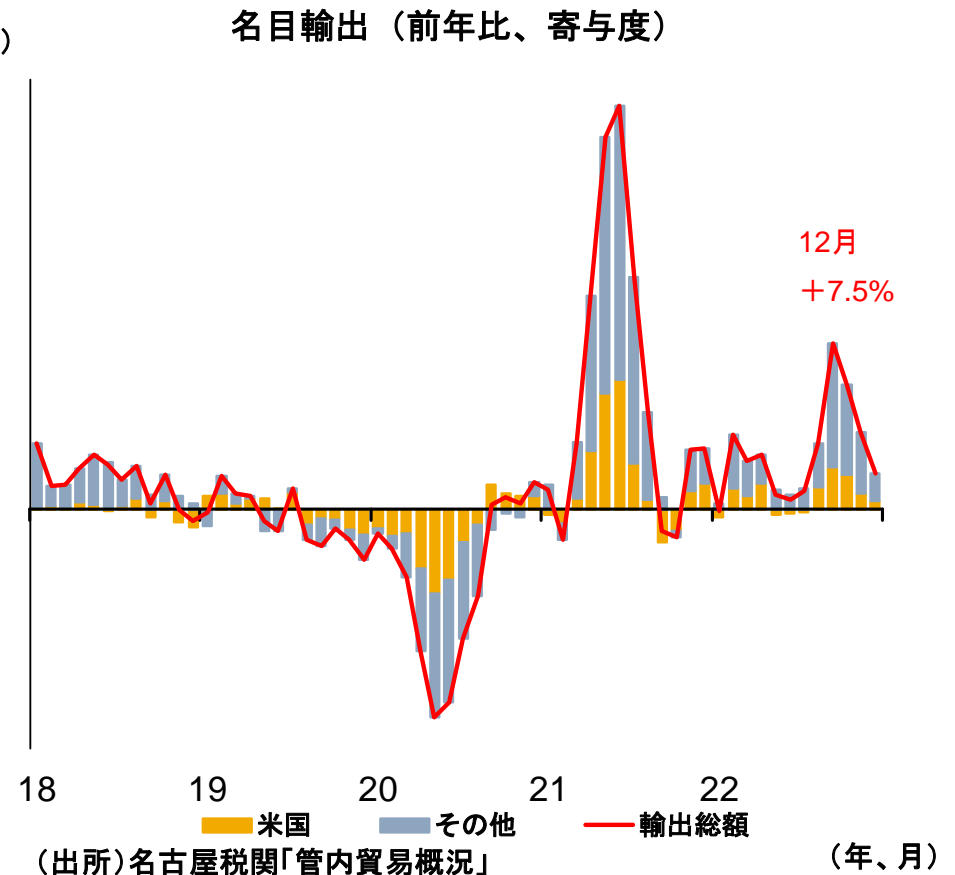
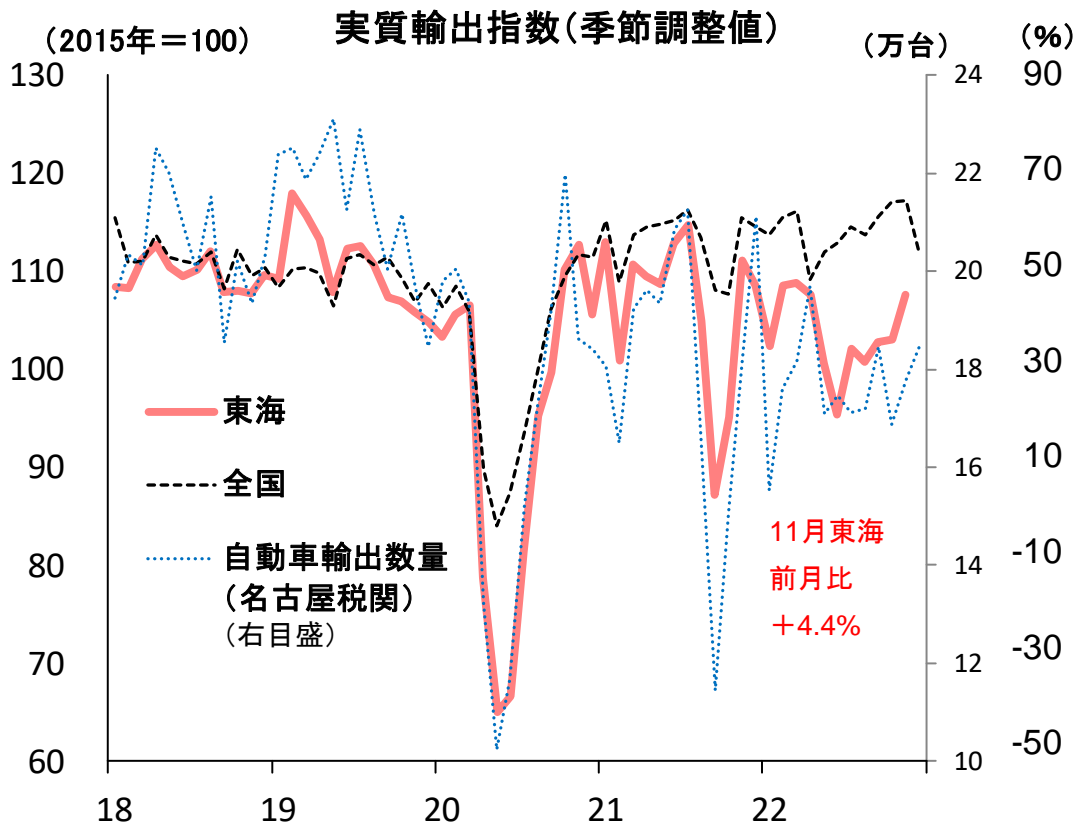


(出所) トヨタ自動車HP、中部経済新聞、鉄鋼新聞

輸出

11月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+4.4%と3カ月連続で上昇した。

12月の名目輸出額は、前年比+7.5%と11カ月連続で増加した。自動車と同+2.8%(寄与度+0.8%)と増加した(数量ベースでは同-12.6%と減少)。地域別ではアジア向けが11カ月ぶりに減少となったが、米国、EU、その他向けが増加した。



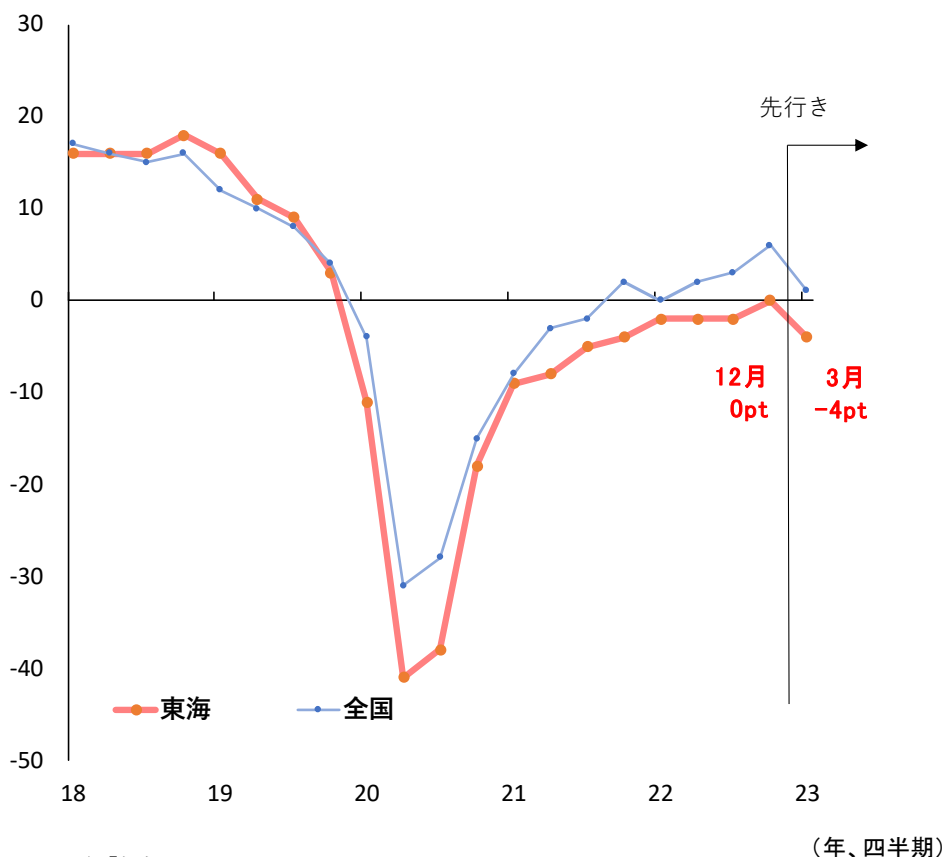
(出所)日銀名古屋支店「実質輸出入」、名古屋税関
(注)自動車輸出数量(名古屋税関)の季調はMURC (年、月)

(出所)名古屋税関「管内貿易概況」 (年、月)

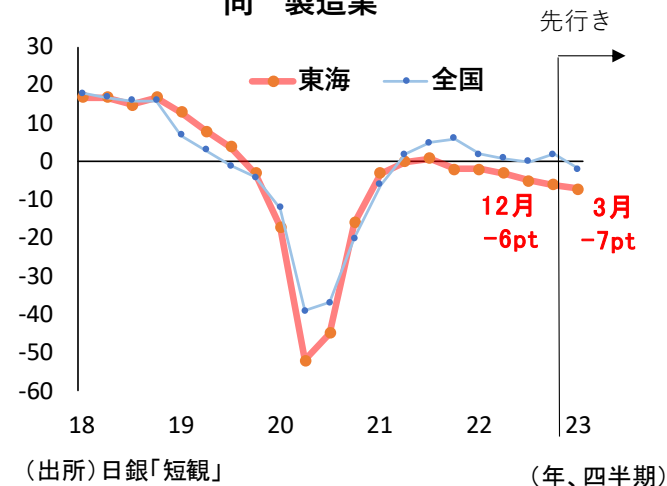
企業景況感(日銀短観) ※以下は12/14公表の12月調査。3月調査は4/3公表予定

日銀短観12月調査の業況判断DIは、全産業で±0ptと9月調査(-2pt)から改善。製造業は-6ptと小幅悪化、非製造業は+7ptと改善した。自動車産業の景況感は-8ptと9月調査(-13pt)から改善した。

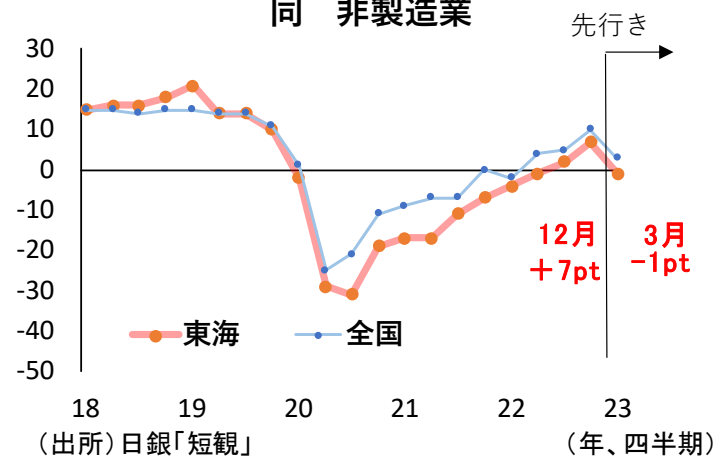
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

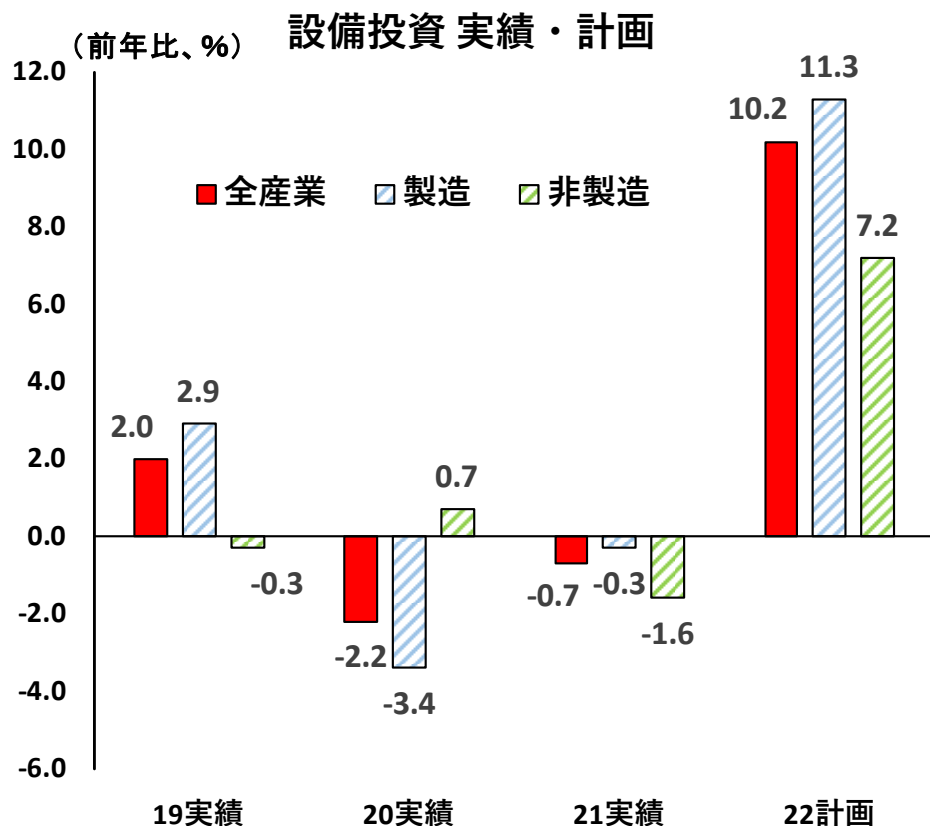


同 非製造業



設備投資（日銀短観） ※以下は12/14公表の12月調査。3月調査は4/3公表予定

日銀短観12月調査によると、22年度の設備投資計画は製造業で前年比+11.3%と前回調査から上方修正、非製造業では同+7.2%と小幅下方修正となった。化学、はん用機械、電気機械で大幅増が見込まれている。



(出所)日銀名古屋支店「短観」

(注)含むソフトウェア・研究開発、除く土地投資

(年度)

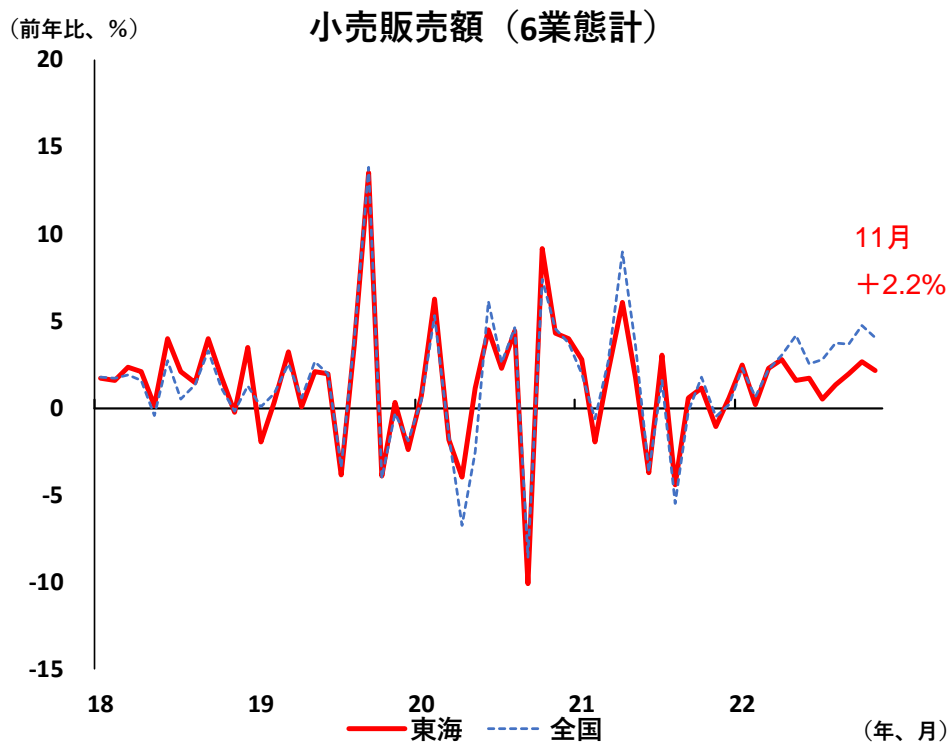
設備投資額（前年比%）

	21年度実績	22年度計画	
		今回調査	前回調査との差異
全産業	-0.7	10.2	(1.7)
製造業	-0.3	11.3	(2.4)
非製造業	-1.6	7.2	(-0.3)

個人消費（小売売上、自動車販売）

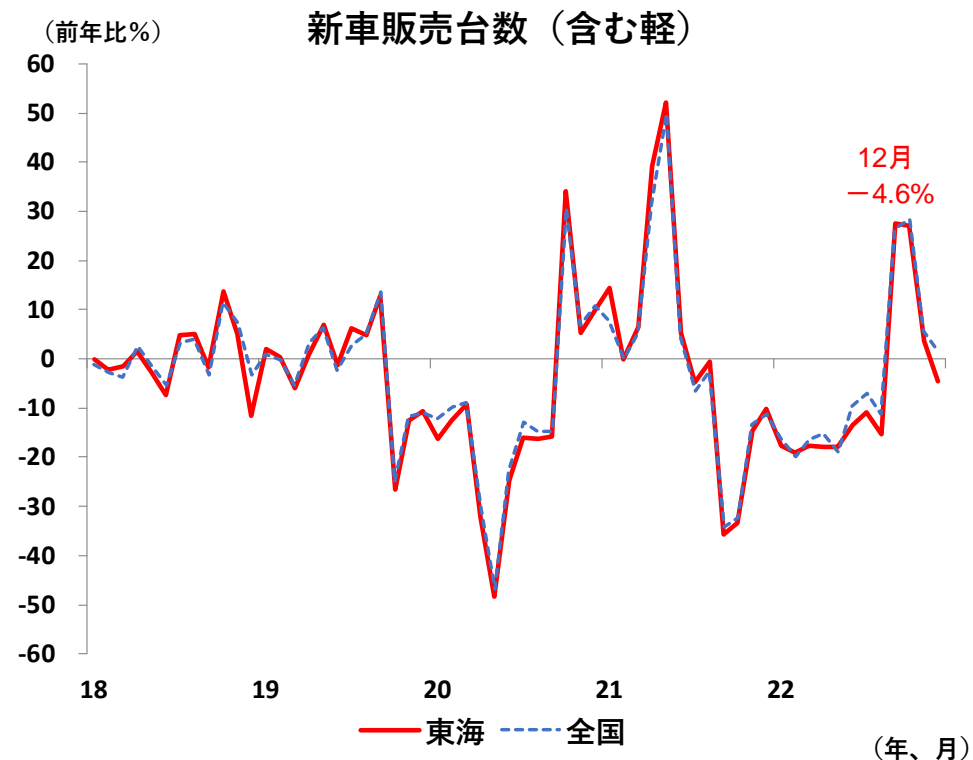
11月の小売販売額は前年比+2.2%と12ヵ月連続で増加。先行きは、物価上昇、コロナ感染再拡大などが懸念されるが、ウィズコロナの進展（定着）により持ち直しの動きが続くとみられる。

12月の新車販売は、前年比-4.6%の34,173台と4ヵ月ぶりに減少した。軽自動車が増加する一方、普通車、小型車が減少した。



（出所）経済産業省「商業動態統計」

（注）百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

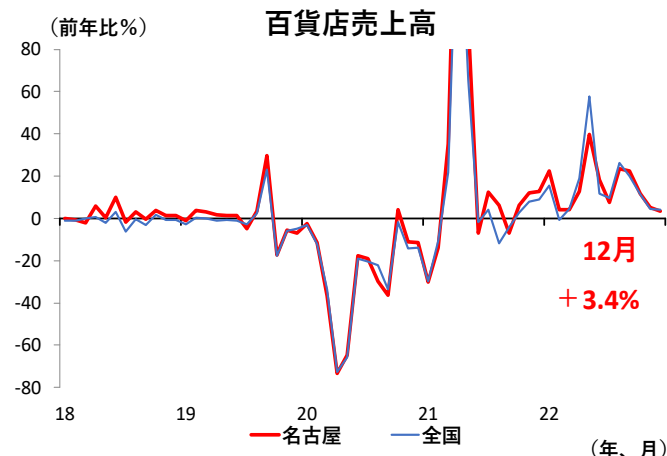
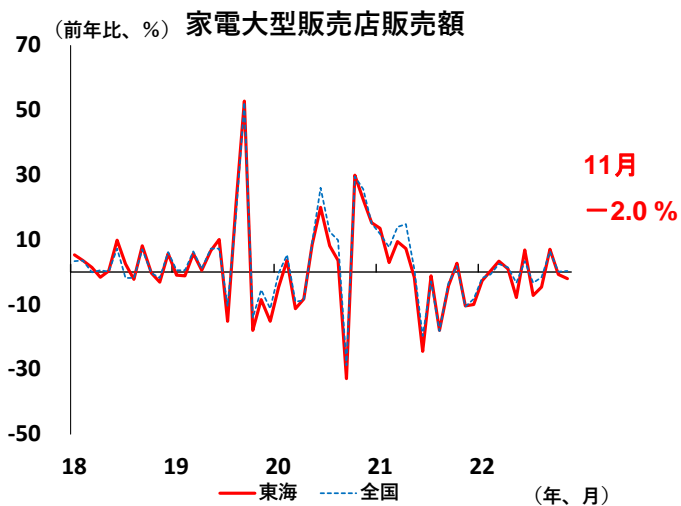
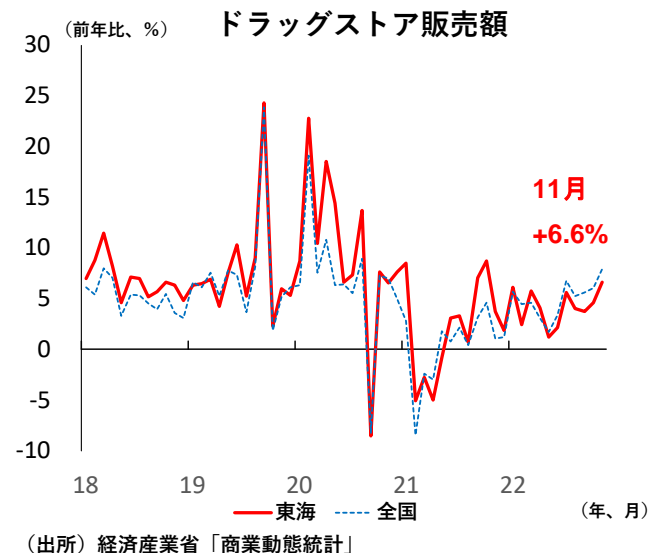
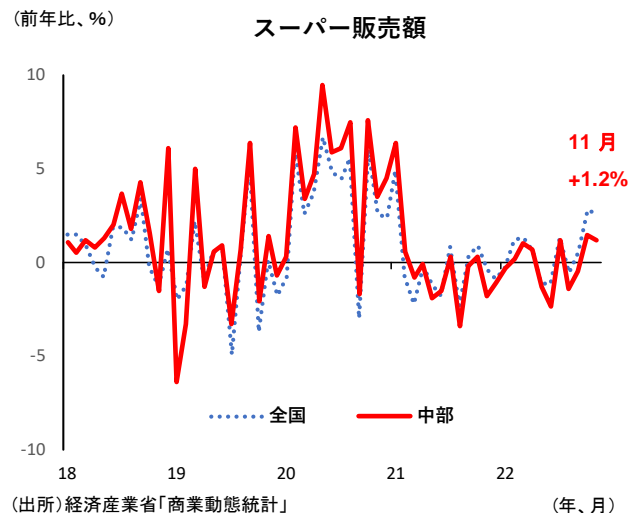


（出所）日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

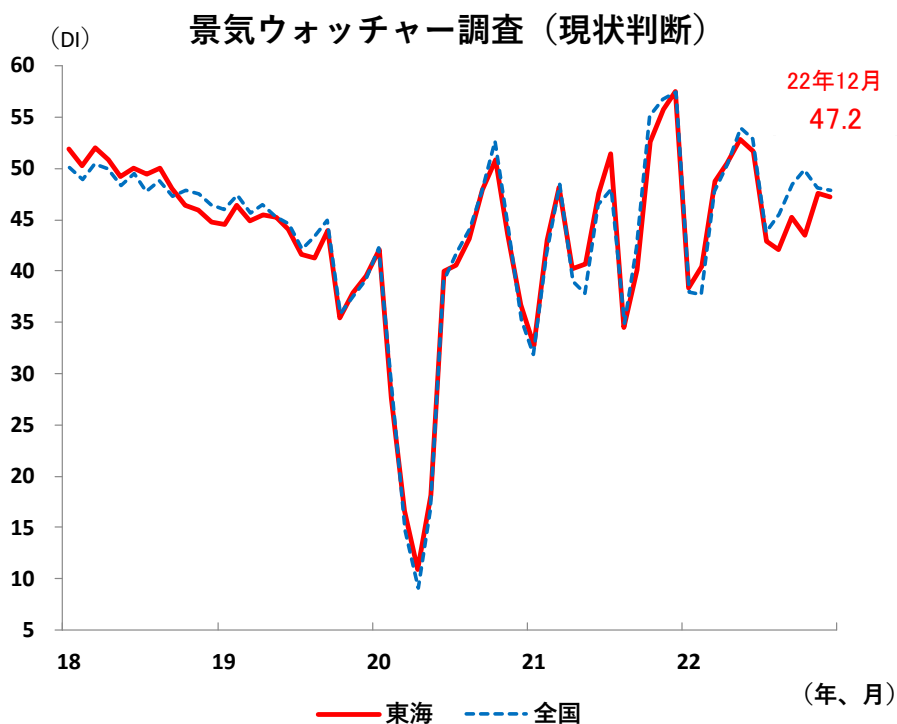
11月の業態別小売販売は、スーパー(中部5県)が2カ月連続で増加、一方、家電は2カ月連続で減少した。
12月の百貨店売上(名古屋)は、前年比+3.4%と15カ月連続で増加した。



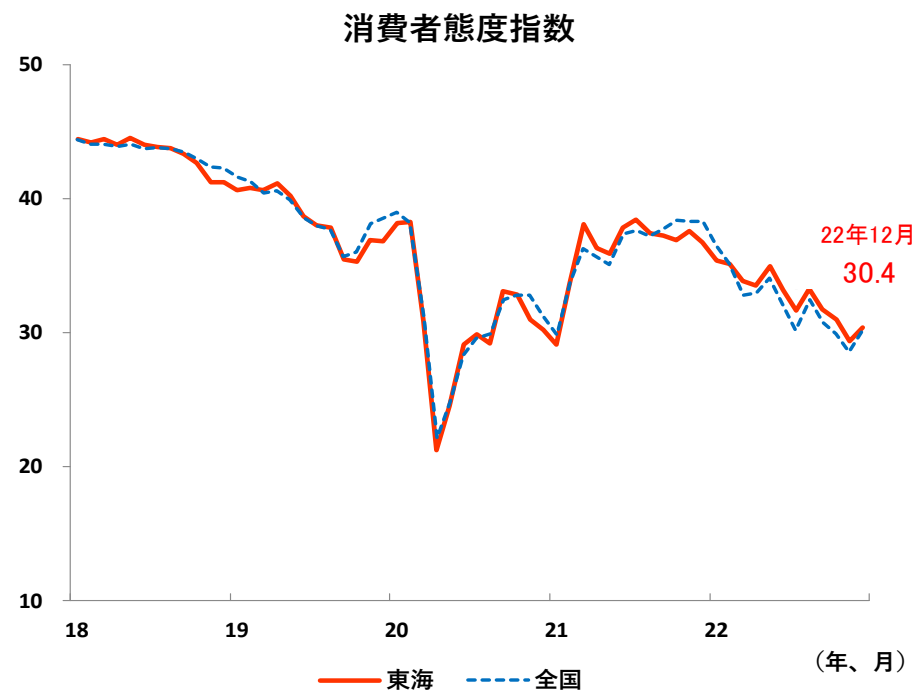
マインド・景況感

12月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、前月差-0.4ポイントの47.2と2ヵ月ぶりに低下し、横ばいを示す50を6ヵ月連続で下回った。人流の戻りを指摘するコメントが多いものの、物価上昇の影響もあって消費回復の動きは強いものではない模様。

12月の消費者態度指数は4ヵ月ぶりに上昇した。



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

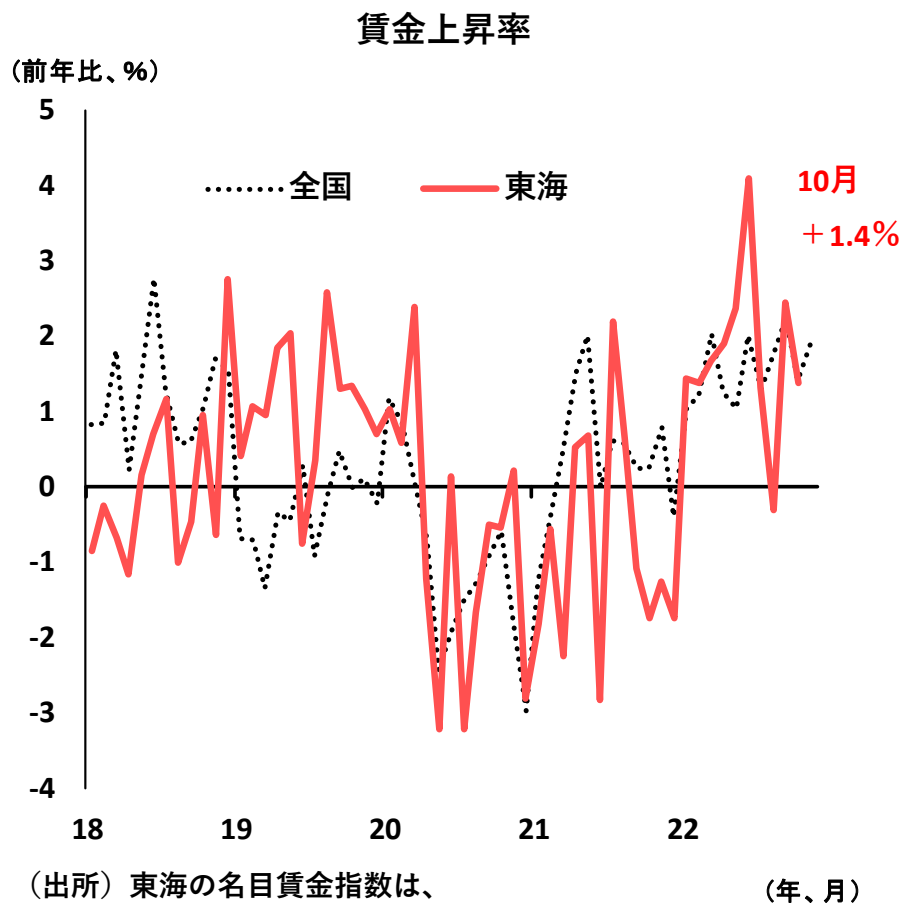


(注)東海の季節調整値はMURC試算

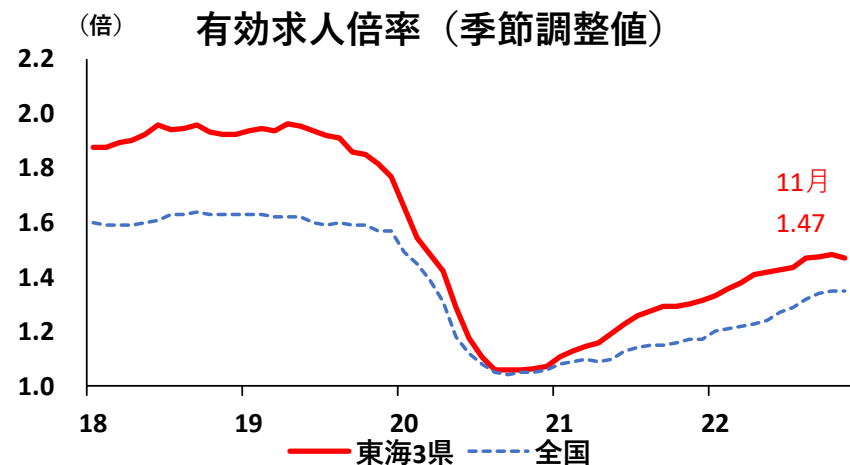
(出所)内閣府「消費動向調査」

賃金・雇用

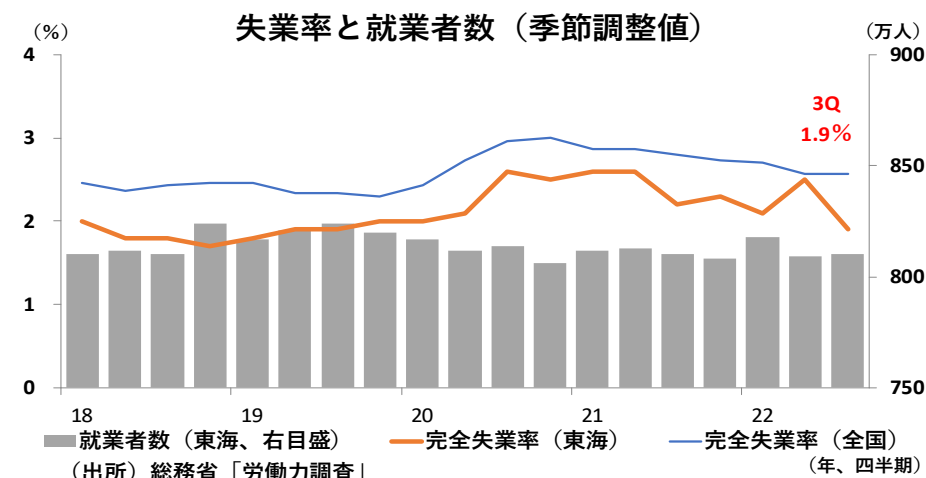
10月の名目賃金は、前年比+1.4%と2ヵ月連続で上昇した。11月の求人倍率は1.47と前月から小幅低下したが、全国に比べ求職者数増加の度合いが低く、求人倍率は高めで推移している。22年7-9月期の失業率は1.9%と低下。就業者数は増加した。



(出所) 東海の名目賃金指数は、愛知、三重、岐阜の指数よりMURC作成

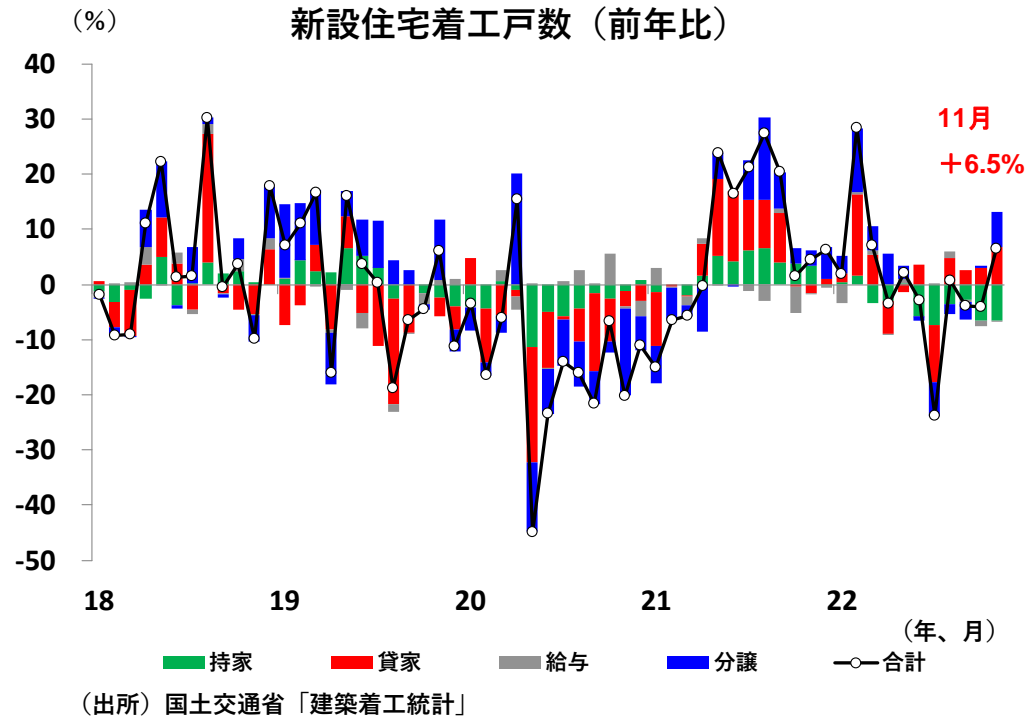
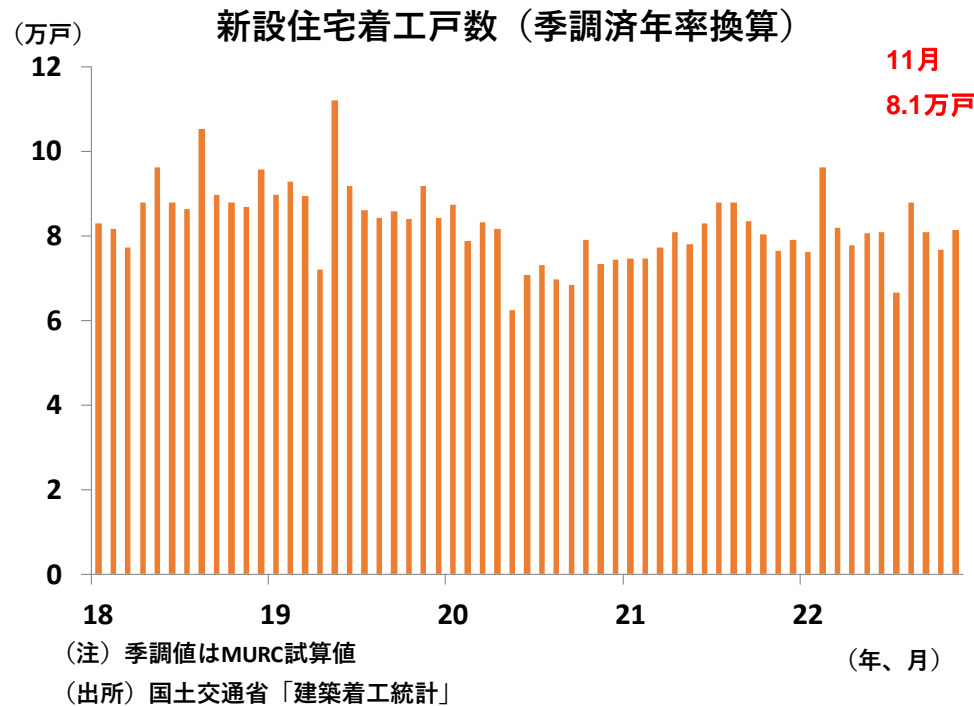


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



住宅投資

11月の住宅着工は季調・年率で8.1万戸と3ヵ月ぶりに増加。前年比でも+6.5%と増加した。利用関係別では持家が減少したが、貸家、分譲マンションが増加した。

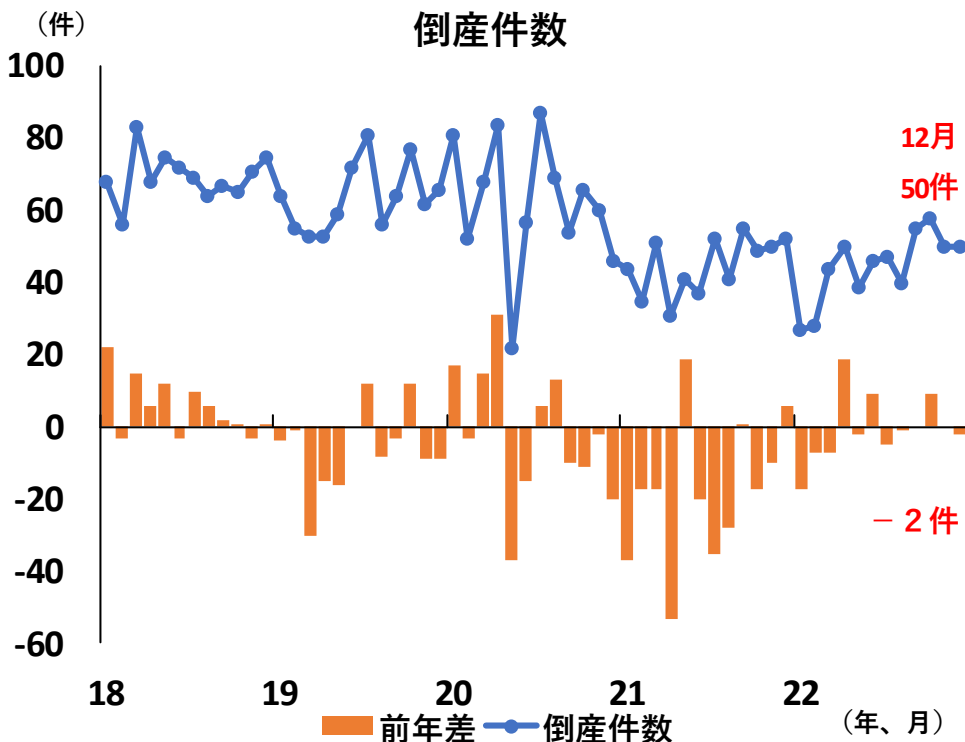


倒産

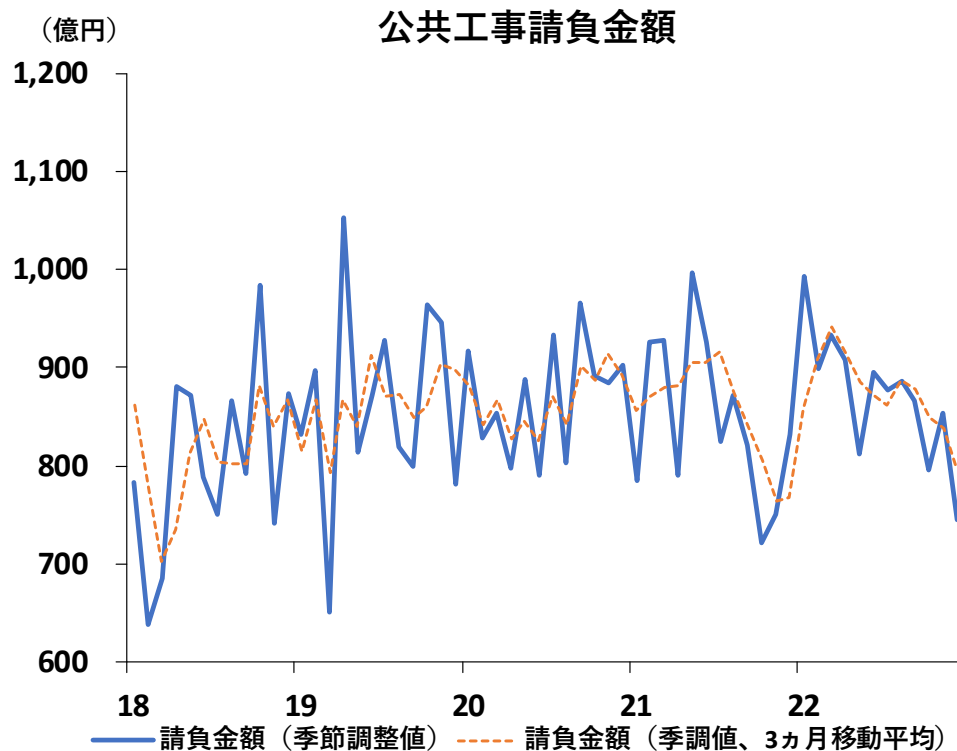
公共投資

12月の倒産件数は50件と前年差で2件減少。引き続き低水準で推移している。

12月の公共工事請負金額は季節調整済前月比で4カ月連続で減少となり、弱含んでいる。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

(年、月)

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください